

# 学習者コーパスで教師を育てる

2023/09/25 @東京国際交流館 プラザ平成  
ラウンドテーブル2 教師を育てる多様な方法  
研究だけじゃない大学院の教師養成  
石黒 圭 (<https://ishigurokei.com/>)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

**国立国語研究所**

National Institute for Japanese Language and Linguistics

# 国立国語研究所とは



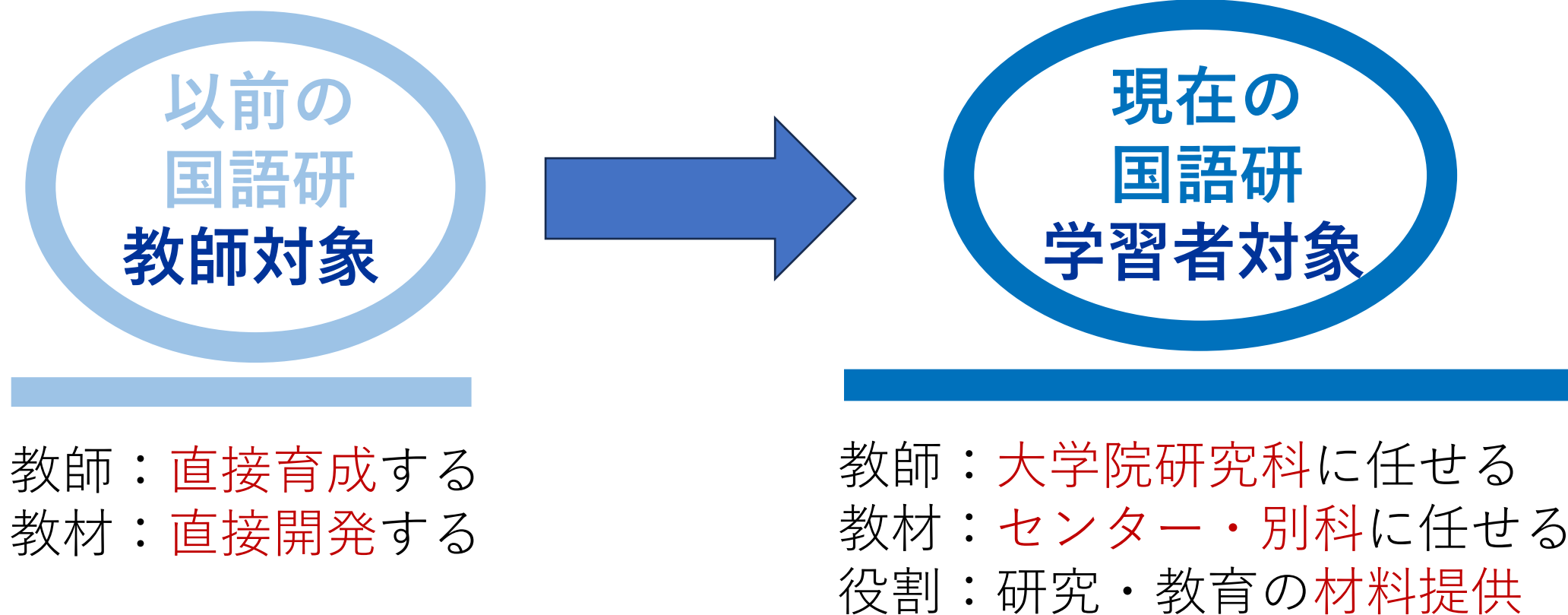
- 国立国語研究所は**1948**年に設立された**日本語の研究機関**。現在は東京都立川市にある。
- 日本語だけでなく、日本語教育にも力を入れ、過去には日本語教師にたいする研修を行ってきた。**1983**年に中曽根内閣の「**留学生10万人計画**」に呼応し、**1980**年半ばから**90**年代にかけて各地の国立大学に留学生センターが作られるが、そこで活躍した教員は、**1976**年度から**2000**年度まで国立国語研究所で実施された**日本語教育長期専門研修**の研修生が少なくない。

# 現在の国立国語研究所

コーパス名	略称
書き言葉 現代日本語書き言葉均衡コーパス	BCCWJ
書き言葉 国語研日本語ウェブコーパス	NWJC
話し言葉 日本語話し言葉コーパス	CSJ
話し言葉 日本語日常会話コーパス	CEJC
話し言葉 昭和話し言葉コーパス	SSC
話し言葉 名大会話コーパス	NUCC
話し言葉 現日研・職場談話コーパス	CWPC
通時 日本語歴史コーパス	CHJ
通時 昭和・平成書き言葉コーパス	SHC
方言 日本語諸方言コーパス	COJADS
日本語学習者 中国語・韓国語母語の日本語学習者縦断発話コーパス	C-JAS
日本語学習者 多言語母語の日本語学習者横断コーパス	I-JAS

- 21世紀に入ってからでも日本語教育研修は別の形で5年ほど続くが、2009年10月に大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所となり、教師研修はその役目を終える。背景には、日本語教育関連の大学院の充実がある。
- 現在の国立国語研究所は、コーパスを中心とする言語資源の研究所として知られ、中納言が有名である。日本語教育では学習者コーパスの構築が盛んに行われている。

# 国立国語研究所の役割の変化



# 過去の学習者コーパス

- 出発点：寺村秀夫（1990）『外国人学習者の日本語誤用例集』
- 母語への視座：国立国語研究所『作文対訳データベース』
- 長さへの関心：金井勇人ほか『JCK作文コーパス』
- レベル別という観点：東京外国語大学『JLPTUFS作文コーパス』
- 学習者の成長：東呉大学『LARP@SCU語料庫』
- 話し言葉への拡大：鎌田修・山内博之『KYコーパス』
- 接触場面への関心：宇佐美まゆみ監修『BTSJ1000人日本語自然会話コーパス』
- タスクという考え方：金澤裕之ほか『YNU書き言葉コーパス』

# 現在の学習者コーパス

- 大規模横断コーパス（公開済）：国立国語研究所（迫田久美子）『多言語母語の日本語学習者横断コーパス（I-JAS）』
- 縦断コーパス（公開済）：国立国語研究所『北京日本語学習者縦断コーパス（B-JAS）』
- 大規模縦断作文コーパス（開発中）：『日本語学習者縦断作文コーパス（W-CoLeJa: Written Corpus of Learner Japanese）』
- 大規模縦断談話コーパス（開発中）：『日本語学習者縦断談話コーパス（S-CoLeJa: Spoken Corpus of Learner Japanese）』



# 未来の学習者コーパス

- 学習者日常会話コーパス（『日本語日常会話コーパス』の非母語話者版）

- ① 留学生（学部・大学院・日本語学校）
- ② 外国人児童・生徒（BICS・CALP）
- ③ 就労者（ビジネスパーソン）
- ④ 生活者（地域）
- ⑤ 観光客（インバウンド）

国語研にできるのは、言語資料の提供することまで。  
教師は学習者コーパスを使って自律的に研究し、  
自ら育つ存在に！